

The Bula Times

ブラ・タイムズ フィジー

Bula (ブラ) はフィジー語で「はじめまして」、「こんにちは」の意味

2024年(令和6年)

7月25日(木)

フィジー海外協力隊通信第1号

発効日: 2024年(令和6年)7月25日

発行者: 赤田 慎太郎

岡山よりフィジーに海外協力隊派遣

津山のJICA海外協力隊隊員フィジーへ

プロフィール

名前: 赤田 慎太郎

出身: 津山市

職歴: 看護師

趣味: 海外旅行

派遣国: フィジー

活動先: シンガトカ病院

活動内容: 病院運営管理

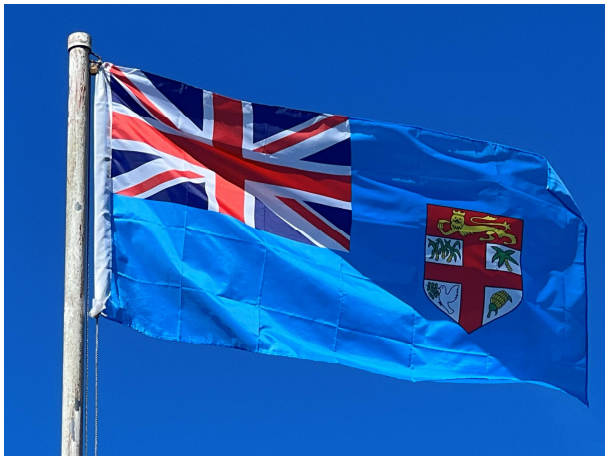


シンガトカ病院で活動開始

Bula! はじめまして。2024年(令和6年)2月よりJICA海外協力隊としてフィジーのシンガトカでボランティア活動をしている赤田慎太郎と申します。2026年2月まで活動させていただきます。

こちらに赴任し6か月が経過し、どうにか生活とボランティア活動にも慣れてきました。最初は文化や生活風習の違いに戸惑うことも多々ありました。しかし生活が安定した今では、フィジーでの生活は毎日が刺激で満ちています。

今回の第一号通信では私の赴任国であるフィジーについて紹介させていただきます。



青空になびくフィジーの国旗

フィジーの地理

フィジーは300以上の島々からなる南太平洋の海洋国家です。その中でもメインとなる島は2つで首都のあるViti Levu島とVanua Levu島です。フィジーの総面積は1万8,270平方キロメートルで四国とほぼ同じ大きさです。首都はSuva(スバ)で、Viti Levu島の東側に位置し、フィジーの政治、経済、文化の中心です。Viti Levu島の西側にはフィジー第二の都市Lautoka(ラウトカ)やフィジーの長距離国際線が発着する国際空港を所有するNadi(ナンディ)などの都市があります。フィジーと日本には3時間の時差があり、フィジーの方が3時間進んでいます。

人口、人種、宗教

2022年、世界銀行調べではフィジーの人口は924,610人で和歌山県と同様の人口規模です。首都Suva(スバ)の人口は93,970人で首都に人口の約1割が集結しています。

2007年政府人口調査によれば、人種は原住民であるフィジー系が57%でフィジーの人口の半分を占めています。イギリス植民地時代のインド移民の末裔もフィジーに根付いておりその割合は38%となっています。それぞれの人種で集落を形成する傾向があり、農村部ではその傾向が著名となります。

宗教は主にキリスト教、ヒンドゥー教、イスラム教の三つです。フィジー系はほぼ100%がキリスト教、インド系は83%がヒンドゥー教と残り17%がイスラム教を信仰しています。



熱帯雨林気候

フィジーの気候は熱帯雨林性気候に属し、基本的に一年中気温が高いです。年間の気温差は少ないですが、昼夜の温度差が大きくなります。日本のように明確な四季はなく、降水量の多い「雨季」と少ない「乾季」に二分されます。熱帯の雨と言えばスコールを想像される方が多いと思いますが、こちらフィジーの雨季はまさに日本の梅雨のような雨の降り方をし湿度も高くなります。一度天気が崩れると長い間太陽を拝めないこともしばしばです。一方、乾季は気温が若干下がり降水量も減ります。南国ならではの青空の下で青い海を楽しめる最高の時期となります。



首都スバのスカイライン

フィジーの主要産業

フィジーの主要産業は、観光、砂糖、衣料品です。西部の都市ナンディー〜シンガトカにかけては多くのビーチが点在し、透明度の高い青い海を楽しむことができます。特に近隣諸国であるオーストラリアやニュージーランドからの観光客が多く、日本人が想像するビーチリゾートNo. 1がハワイであるように、オーストラリアやニュージーランド人にとってはフィジーがそれに該当するそうです。都市部を離れると沖縄のように一面のサトウキビ畑を見ることができます。収穫されたサトウキビは西部の都市ラウトカで砂糖に精製されます。



遠浅の続くシンガトカの青い海

カバの儀式

フィジー系住民の集会やお祝い事で開催されるのがカバの儀式で、その場で提供されるのがカバです。カバはヤンゴーナと呼ばれる胡椒の木の根の部分乾燥させたものを粉状にし、水に混ぜ絞りと出した飲み物です。個人的の見解ですが苦みの強い飲み物です。飲むとリラックス効果があり、口に含むと少しピリピリと痺れた感覚になります。輪になりカバを飲みながら会話を楽しむのが風習となっています。



カバの作成風景

フィジーの食文化

フィジー系とインド系では食するものも異なります。フィジー系の主食はキャッサバやタロなどのイモ類またはパンとなります。おかずは魚やココナッツを使用した料理が多いです。インド系の主食はインド本国でよく食される小麦粉を使用した無発酵パンのロティやお米です。それらのお供となるのはカレー味の煮物や汁物です。

フィジー系のもてなし料理



世界幸福度調査2年連続1位

過去のWorld Independent Network of Market Research調べの「幸福度調査」でフィジーは世界幸福度ランキング1位の座に2度輝いています。フィジーの人々は表情豊かに生き生きと毎日を過ごしています。バスの中では運転手が堂々とスピーカーから音楽を流し、子供たちはキャッキヤ言いながらじゃれ合っています。しかし乗客の誰一人それらを咎める人はいません。南国特有の曖昧な時間感覚があるため、レジやレストランでの待ち時間が長くなることも多いです。しかし店員にクレームを言う人はほとんどいませんし、公共交通機関が30分〜1時間遅れても同様に、同じ公共交通機関を待つ初見の人とお喋りをして待ち時間を楽しみます。人々が笑顔で生活する様子を眺めるとフィジーが世界幸福度1位に選ばれた事は当然であり、フィジー人の心が寛大で豊かであることを痛感します。